



20人がより良い市政を目指して

一般質問とは、議員が市政全般にわたり、市の考えを問うものです。掲載内容は、各議員本人が質問と答弁を要約したもので、すべての質問と答弁は、市議会ホームページの録画中継やYouTubeで視聴できます。

霧島市議会中継

二次元コードを、スマートフォンのQRコードリーダーで読み取ることで、一般質問の録画中継がYouTubeでご覧いただけます。

※一般質問は2月24日から27日に行いました。

一般質問



林野火災から市民の生命、財産を守る対応策を

川窪 幸治 議員

問 林野火災の発生状況や想定リスク、現在の課題の認識はどうか。

答 本市では近年大規模火災は発生していないが、乾燥や強風により延焼拡大のリスクがある。たき火や火入れといった人為的なものに対して、未然防止対策の徹底が課題と考えている。

問 林野火災予防策や発生時の初動対応体制、関係機関との連携強化など、今後の対策の推進はどうか。

答 予防策として条例を改正し、林野火災注意報・警報制度を創設した。制度の周知を徹底し実行性のある対策をしていく。初動対応は、発生



その他の質問
有害鳥獣被害対策



私立高校の授業料無償化による影響は

渡邊 理恵 議員

問 令和8年度から実施される予定の、私立高校の授業料無償化による公立高校への影響はどのように考えているか。

答 家庭の経済状況にかかわらず選択の幅が広がり、生徒確保に向けた競争が激化すると予想される。地域全体で公立高校の魅力を高め、支えていく気運の醸成に努める。

トイレの洋式化を進め生理用品の設置を



その他の質問
土曜授業見直しの影響



市道木之房く上野線の豪雨災害対策の強化を

宮内 博 議員

問 市道木之房く上野線崩落の原因のひとつである志學館大学跡地のメガソーラー発電所の災害防止策について、本市は、事業者に改善策を求めたのか。メガソーラー建設後に市道の排水路断面は拡幅されたのか。新たな調整池整備や排水路拡幅を求めるときではないか。

答 令和5月の出納閉鎖時の介護給付費準備基金が、16億1千万円との見込みである。令和9年度からの事業では、この基金を活用して訪問介護の充実や保険料負担を軽減すべきではないか。

問 事業者には、早期復旧と必要な災害防止策を要請した。排水路断面の拡幅は行っていない。今後事業者に対して取り組むべき対策を要請していく。

答 介護事業者への支援は、これまで複数回の支援を行っている。基金取り崩しについては、国から示される指針を基にさまざまなシミュレーションを行っている。

その他の質問
里道・開発道路の市道認定

問 介護保険事業は、令

詳しくはこちら



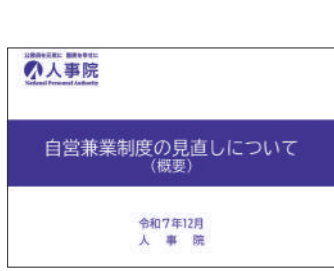
公務員も、ともに共生協働のまちづくりを

野村 和人 議員

問 国では職員の副業・兼業を、業務に支障を及ぼさない範囲で認める方針であり、他の自治体でも一定の兼業を認める事例が増加している。職員の地域活動等の経験が多様な地域課題の解決につながるかと考える。また、「営利企業等の従事制限に関する規則」により原則禁止となっている。本市の現状はどうか。

答 令和5年度が69人、令和6年度が77人、令和7年度が1月末で331人。市スポーツ推進委員や国勢調査員、非常勤講師などである。

問 兼業制度の見直しは、職員のスキルアップやモチベーション向上につながる、離職防止や採



詳しくはこちら



魅力ある持続可能な教育環境の構築を

渡邊 圭章 議員

問 現在の教育環境の状況をどのように分析し、どのような課題認識を持っているか。

答 少子化の進行により特に中山間地域で児童数の減少と学校の小規模化が進行している。その結果、クラス替えができない学級や複式学級が増え、部活動など集団教育にも制約が生じている。加えて、築40年以上の校舎が多く、老朽化対策も喫緊の課題である。

子どもたちが一定規模の集団で協働する力を育むとともに、個別最適の学びや特別支援教育など多様なニーズへの対応が重要と認識している。

問 将来を見据え、本市としてどのような公立学校像を描いているか。

答 令和7年度に「霧島市公立学校等あり方検討委員会」を設置し、学びの保障を最優先に、ICT活用などを通じて、質の高い教育環境の整備を計画的に進める。「霧島市で学んで良かった」と心から思える学校づくりを目指し、市民の皆さまとともに将来像を描いていく。教育を未来への投資と位置付け、子ども一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす教育環境を整えていく。

詳しくはこちら

